

横浜市議員 **かじむら 充** 市政レポート

令和2年(2020年) 10月20日 第40号 討議資料

プロフィール

- 市会 横浜市議員6期、市民・文化観光・消防委員会、基地対策特別委員会
第48代横浜市議会議長・元神奈川県内広域水道企業団議会議員
- 自民党 自民党横浜市支部連合会幹事長、自民党泉区連合支部支部長
- その他 横浜市ボウリング協会会長、神奈川県親善交流ジュニアリーグ野球連盟会長
学童野球北部球友会会長、横浜市早朝野球連盟副会長
全日本不動産協会横浜支部顧問、横浜市管工事協同組合顧問
神奈川県宅地建物取引業協会横浜西部支部顧問
(一社)横浜市地質調査業協会顧問、(一社)神奈川県測量設計業協会顧問



発行元：自民党泉区第五支部

◇菅義偉内閣総理大臣(第9代市連会長)へ要望活動を行いました◇

自由民主党横浜市支部連合会は菅総理に対し、横浜市将来のさらなる成長、発展に向け、国の制度、予算等に関する項目を取りまとめて要望を行いました。要望項目は下記の通りです。

1. 特別自治市の早期実現
2. 地方分権改革のさらなる推進
～政令市への事務権限の委譲と自主財源の充実～
3. 新型コロナウイルス感染症対策特別措置法における政令市の権限強化
4. インバウンド誘客と観光振興の強化
5. 「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」終了後の支援拡充
6. 持続可能なGIGAスクール構想実現に向けた支援

詳しくはよこはま自民党ホームページ内、自民党横浜市連ニュースをご覧ください。<https://www.jiminyokohama.gr.jp/>



経験と実績の横浜市議員

かじむら充事務所



〒245-0013 横浜市泉区中田東 3-19-5

TEL 045-806-1051 FAX 045-806-1053



日々、つぶやいてます！

横浜市議員 **かじむら充**

検索



office@m-kajimura.com

ご意見お待ちしております



横浜市連幹事長として横浜市の発展、国の制度、予算等に関する要望書を第九十九代内閣総理大臣へ提出後、官邸にて

暮らしの声をカタチに「バス路線維持、充実へ」横浜市議員 梶村充

毎日の買い物や通院などで、特に高齢者の皆さんにとって身近な交通手段のひとつが路線バスではないでしょうか。しかし泉区内でもこのまま人口減少や高齢化が進み、利用者や運転士が不足すれば、バスの減便や廃止が危惧されます。誰もが移動しやすい地域交通を目指すには交通手段の確保は喫緊の課題です。

泉区では現在、長後街道の踊場付近と緑園地区をつなぐ「中田さちが丘線」の工事が進められています。(2021年3月開通予定)しかし、現段階で直通のバス路線が通る予定はありません。長後街道の中田東一丁目を起点として、領家、岡津、緑園を經由し、旭区善部町に至る全長5.9kmをつなぐこの道路。今後バスが通ることになれば移動手段の幅が広がり、区内の南北がつながることで沿線商業施設の充実など、より便利になることが予想されます。

先日、市と神奈川中央交通とが協定を結び、戸塚区のドリームハイツ周辺地区を中心とした路線の維持や利便性向上に向けて提携していくことになりました。泉区でも協定を結ぶことができれば、必要なバス路線の維持や再編に向けた支援が進みやすくなります。市や関係機関に粘りつよく訴え、「まず地域、まず暮らし」の信条のもと、暮らしの声をカタチにしていきたいと思います。

人口減、大きな課題 自由民主党横浜市議員梶村充さん

— 今期取り組んできた実績と、今後任期内にやりとげたいことは。

「令和4年の開校に向け、緑園義務教育学校の校舎の建設工事が始まりました。緑園地域には緑園東・西小学校の卒業生を受け入れる中学校がありません。適正な教育環境の整備や教育力の向上、コミュニティハウスの併設による地域交流の発展、また大規模災害における医療拠点の確保等を目指し、区民の皆さんの声をカタチにしていきます」

— 泉区の課題は。

「人口減が大きな課題だと思っています。『#住むなら泉区』と区をあげて取り組んでいます。泉区の人口は10年間で約4千人減。泉区は幸いにして交通の便が良く鉄道駅が9つあります。相鉄線の新宿乗り入れがはじまり、東急東横線渋谷への乗り入れも令和3年度にはスタート。駅周辺の用途地域を見直し、建築物の容積率をアップすることで利便性や速達性のある住宅の建築を促し、人口減を克服する必要があります」

— 区民へのメッセージを。

「コロナ禍で区民の皆さん大変なご苦勞をされていると推察いたします。10月には新医師会館完成に伴い、休日急患診療所が移転します。館内が広くなり、感染予防に関する設備も充実するほか、区役所に隣接するため行政との連携がより強くなると考えられます。急性期病院の新設等への対応もしていきます」